

パッケージ空調【散水システム】

ドレン水の再利用『ウォーターカーテン』という散水の発想による消費電力約20%削減

■構成イメージ

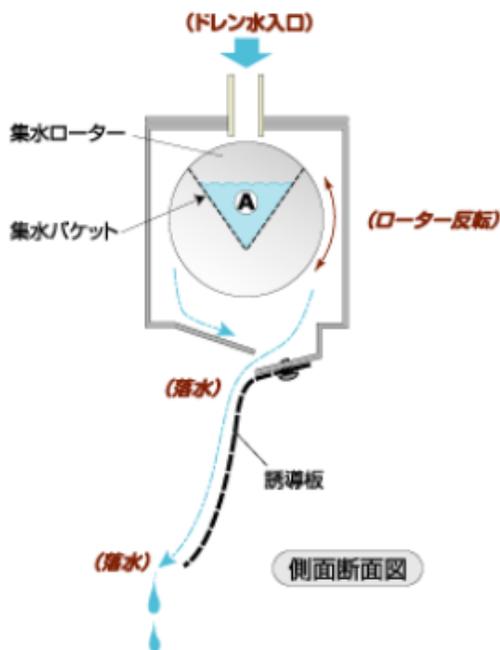
Jタイプ/自動放流のしくみ

1.入口から入ったドレン水が、ローター上部の集水バケットに溜まります(A)。

2.バケット内の水が一定量を超えると、ローターのバランスが崩れて下に回転。ドレン水を自動放流します。

・放流されたドレン水は誘導板を一気に流れて熱交換器(アルミフィン)を濡らし、吸入空気を冷却します。

3.放流後ローターは元に戻り、再びドレン水を溜めます。



■設置対象

空調室外機

■商品概要

夏に近づくと、冷房コストの負荷が気になる。ウォーターカーテンシステムは、そんな悩みにお応えするために誕生しました。打ち水の原理で室外機を冷やし、消費電力と冷房コストを削減。

CO2を削減することで環境保全にも貢献します。カンタン工事で大きな省エネ効果を発揮します。

暑い夏が来る前に、ぜひ導入をご検討ください。

■効果

消費電力を約 20% 削減
冷房能力を約 5% 向上

■導入実績

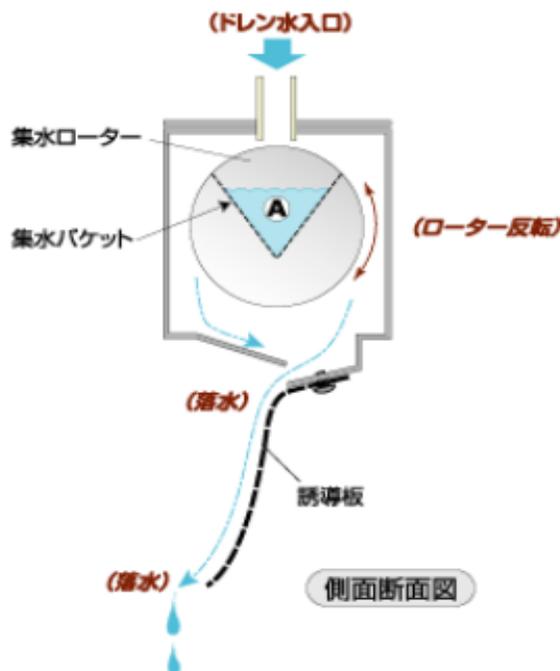
大手化学工場、食品工場、オフィスなど

Jタイプ (ドレン水活用型 / SC-J-40/70)

今までたれ流していたドレン水を使って、価値ある効果を実現。
小型・中型の空調機器に最適です。

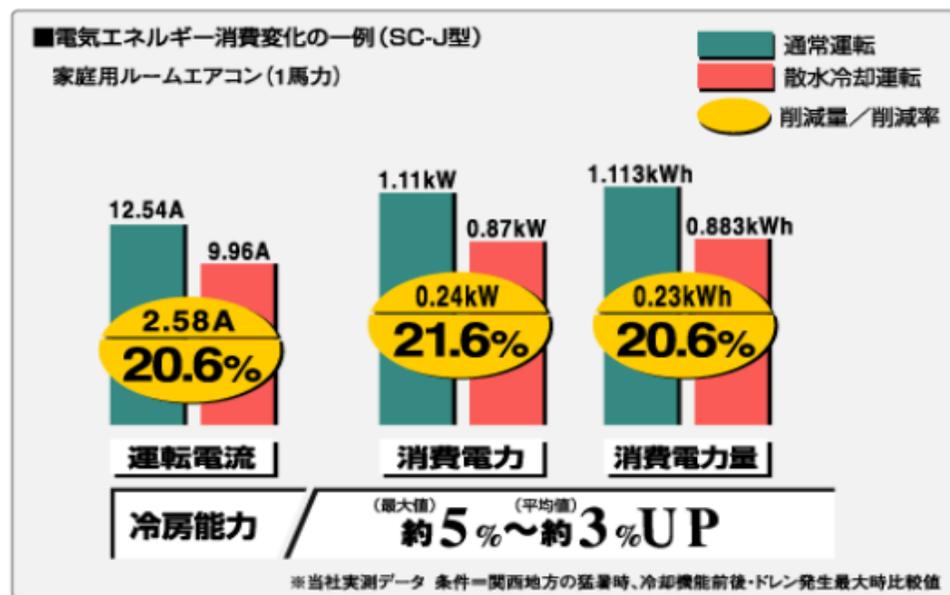
Jタイプ / 自動放流のしくみ

1. 入口から入ったドレン水が、ローター上部の集水バケットに溜まります(A)。
2. バケット内の水が一定量を超えると、ローターのバランスが崩れて下に回転。ドレン水を自動放流します。
・放流されたドレン水は誘導板を一気に流れて熱交換器(アルミフィン)を濡らし、吸入空気を冷却します。
3. 放流後ローターは元に戻り、再びドレン水を溜めます。



消費電力を約20%削減、冷房能力を約5%向上。

すぐれた省エネ効果で冷房コストを大幅に低減。同時に冷房能力も高めてCO2の発生を抑え、環境保全にも貢献します。



冷房能力を高め、すぐれた省エネ効果を発揮

- ◆運転電流を20.6%も減らし、圧縮機の仕事を軽減。機器の消耗を少なくすることで故障を減らし、冷房コストを大幅に低減します。
- ◆力率を減少させ、低速運転を可能とすることでモーター部の負荷を軽減。過酷運転を回避し、機器の寿命を延ばします。